慣用句・ことわざ・故事成語(2)

ことわざ

古くから世間で言いならわされてきた教訓的な言葉を**ことわざ**という。

・**石橋をたたいて渡(わた)る**……用心に用心を重ねる、大変慎重(しんちょう)な様子。
・**馬の耳に念仏**……人の意見を聞き流し、少しも聞き入れようとしないこと。
・**果報は寝(ね)て待て**……幸運は人力ではどうすることもできないので、静かに時機を待つのがよいということ。
・**弘法(こうぼう)にも筆の誤り**……その道に長じた人も時には失敗すること。
・**三人寄れば文殊(もんじゅ)の知恵(ちえ)**……平凡(へいぼん)な人も三人集まればすばらしい知恵が出るものだということ。
・**知らぬが仏**……知らないから、平気でいられること。
・**出る杭(くい)は打たれる**……頭角をあらわす者は人から憎(にく)まれがちだということ。
・**灯台下(もと)暗し**……身近なことはかえってわかりにくいものだということ。
・**泣きっ面(つら)に蜂(はち)**……不運なときに、さらに不幸が重なること。
・**花よりだんご**……風流なものや外見がよいものよりも、利益のあるものを重んじること。
・**身から出たさび**……自分の行いが原因で災(わざわ)いにあうこと。
・**焼け石に水**……少しの援助(えんじょ)や努力では効果がないこと。

故事成語

中国の古典に記された話など、言い伝えられている昔の出来事がもととなってできた言葉を**故事成語**という。

・**覆水盆(ふくすいぼん)に返らず**……一度してしまったことは取り返しがつかないということ。
・**他山の石**……他人のつまらない言動も、自分への戒(いまし)めや人格を磨(みが)くのに役立つということ。
・**背水の陣(じん)**……一歩も引くことができない立場で、全力で事に当たること。
・**塞翁(さいおう)が馬（人間万事(ばんじ)塞翁が馬）**……その人にとって何が幸か不幸かは、予測しがたいということ。
・**竹馬(ちくば)の友**……幼い頃(ころ)からの友人、幼なじみ。

誤用されやすい表現

・**浮足(うきあし)立つ**……恐(おそ)れや不安でそわそわする。
・**気が置けない**……気遣(きづか)いしなくてよい、心から打ち解けられる。
・**敷居(しきい)が高い**……相手に不義理をしたために、その人の家に行きにくい。
・**ぞっとしない**……面白(おもしろ)くない。
・**情けは人のためならず**……人への親切は、やがてよい報(むく)いとなって自分に返ってくる。

確認テスト

(1) 次のことわざの意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 雨降って地固まる　② 枯れ木も山のにぎわい

③ 朱に交われば赤くなる　④ たで食う虫も好き好き

ア 人は交わる友人によって善にも悪にもなること。

イ つまらないものでも、ないよりはましであること。

ウ 人の好みはさまざまであるということ。

エ もめごとの後にかえってよい状態になること。

①〔　　〕 ②〔　　〕 ③〔　　〕 ④〔　　〕

(2) 次のことわざと似た意味のことわざを、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 医者の不養生〔　　〕　② 猿も木から落ちる〔　　〕

③ 月とすっぽん〔　　〕　④ のれんに腕押し〔　　〕

ア 弘法にも筆の誤り　**イ** 紺屋の白袴

ウ 提灯に釣り鐘　**エ** ぬかにくぎ

(3) 次の故事成語の意味を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 杞憂〔　　〕　② 漁夫の利〔　　〕

③ 蛍雪の功〔　　〕　④ 五十歩百歩〔　　〕

ア 当事者が争うすきに第三者が利益を横取りすること。

イ 苦学した成果、また、苦労して学問にはげむこと。

ウ 少しの違いはあっても、本質的には変わらないこと。

エ 心配する必要のないことを心配すること。

(4) 「気が置けない人」の意味を選びなさい。

ア 油断ならない人　**イ** 気が許せる人

〔　　〕

(5) 「情けは人のためならず」の意味を選びなさい。

ア 情けをかけることは、かえってその人のためにならない。

イ 情けをかけることは、自分によい報いとなって返ってくる。

〔　　〕